

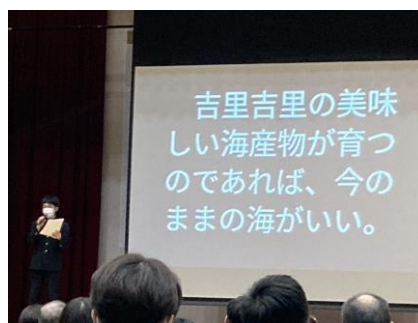


・令和4年度「大槌の教育」推進協議会全体研修会 その1

去る1月23日(月)に、「大槌の教育」推進協議会が主催する当研修会と「大槌町児童生徒実践発表会」が、平野町長にご参加いただくなど、3年ぶりに対面で盛大に開催されました。

実践発表会では、大槌学園の8年生、吉里吉里学園の9年生、大槌高校の2年生の生徒たちがそれぞれのテーマに迫る趣向を凝らした発表をしてくれました。大槌の小中高の児童・生徒が系統的に「探求的な学び」に取り組んでいることが伺われ、平野町長からも「素晴らしい発表だった」とお褒めの言葉をいただきました。

先生方が日々地域の皆さんと目の前の子どもたちと協働して「ふるさと科」の学びを創り上げている成果を体感させていただきました。



- ・全ての発表会が素晴らしかったと思いました。共通した事は、学習を通じて大好きな「大槌愛」が随所で伝わってきました。特に、高校生の遠藤さんの「地域とのつながり=人とつながること」その乗り越える壁を見出し、新たに挑戦する姿勢に感動しました。
- ・地域を知り、地域と関わり、コミュニティの中で自分の可能性や未来を広げていく子どもたちの姿に感動しました。体験学習ありきではなく、探求的な学びのサイクルの有効性を実感しました。

先進地研修の発表では、大槌学園の木村副校長先生、吉里吉里学園小学部の橋本先生が先進地の取組を紹介してくださいました。他地区の先進的な取組に接することで、今の私たちの「小中一貫教育」「ふるさと科」「コミュニティ・スクール」の取組を振り返ることができました。



大槌の教育は常にリニューアルし続ける教育です。来年度に向けて、良いところはどんどん取り入れる柔軟性としなやかさ、スクラップすべきところはきっぱりとやめる潔さで計画づくりをしていきましょう。

- ・大槌町の取組と同じようなもの多く、自分達に取り組んでいる方向性で良いのだと思えた。
- ・全国各地域で展開している「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」の好事例を参考させていただき、大槌町のふるさと科学習を更に進化させて行きたいと思います。

最後に話された、久留島先生の「身動かざれば、心動かず」・・・全く同感です！！

・大槌学園以外の義務教育学校、小中一貫校の取り組みについて知ることができたのは、大変勉強になった。新たな取り組みを進めていく上で大事なことは、たくさん情報を得て、それらの内容を理解し、その中から自分が進めようとしていることには、何が必要で、何を取り入れればよいのか考え、判断し、実践することをためらうことなく挑戦することだと思った。